


## 園だより 1月

起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り 主の栄光はあなたの上に輝く。

イザヤ書 60 章 1 節

「えがおあふれる いちねんになりますように」



今年もこのご挨拶で園だよりの新年が迎えられますこと、心から嬉しく思います。今年のお正月は大きな災害なども無く新しい年を迎えられましたことに安堵いたしました。また、最大 9 連休という 2024 年から 2025 年への年明けは、時間的にも気持的にもゆったりとした日々となったのではないのでしょうか。

「お正月」という日本の行事を子どもたちはどの様に感じながら過ごしたことでしょう。それぞれのご家庭での過ごし方、迎える場所、一緒に迎える人たちによって経験する「お正月」は様々だと思います。でも、日常の生活リズムとは違う、また、他の長期休みなどともなんだか違う、やはり新しい年を迎える「お正月」の特別感を、きっと子どもたちはそれぞれに肌で感じていることと思います。その年齢ならではの感性で感じている 2025 年の新年が、平和に迎えられていることに 心から感謝をしたいと思えます。そして、この平和がいつまでも続くことを切に祈ります。

今日から 3 学期が始まりました。新しい年を迎え、心新たに毎日を大切に過ごして参ります。日数的には大変短い日々です。だからこそ、あたり前の日常として流れて行くときを、その流れの意義をしっかりと踏まえながら、子どもたちの成長にかけがえのない日々として捉え、より良い成長を願い、共に過ごしたいと思えます。1 学期、2 学期で育まれた子どもたち各々の成長が、個々の生活の様子や、友だち同士の関わりの様子などから、様々なところで感じられることと思います。そのような子どもたちの今を、成長を、子どもたちが目を輝かせ、自らの力を発揮し遊び込んでいる姿を大切に、その先への意義を見だし、だからこそそのかけがえのない日々として毎日を過ごして参ります。

1 年間のまとめ、そして、次年度への備えのときである 3 学期、保護者の皆様の変わらないご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

園長 駿河 幸子

